

ベンチャー
SPIRITS
2010 in 名古屋

抄録

2010・12・7
TUE. ナディアパーク 3F デザインホール

来賓挨拶

日本は過去、多くの起業家が新事業に挑戦してきた。ものづくり基盤をはじめとするわが国の競争力強化は、ベンチャースピリッツの賜と言っても過言ではない。しかしながら、昨今のわが国の地位の低下は著しい。今こそ柔軟な発想と創意工夫で新市場、新分野を開拓するベンチャー精神が求められている。

経済産業省中部経済産業局

産業部長 大関 正道 氏



特別講演

保険を通じて日本を変える ～プロが選んだ入りたい保険No.1!

「保険料を半分にして、安心して赤ちゃんが産める社会をつくりたい」

ライフネット生命保険は2006年にゼロから立ち上げ、74年ぶりに国から免許を頂いた完全独立系の生命保険会社。開業に当たっては日本人の所得がどうなっているかというデータ解析から始めた。

賃金は下がり続け、若い人の正規雇用が少ないため、若者は先進国の中で一番貧しい。ゼロから作る保険会社のミッションは保険料を半分にして安心して赤ちゃんが産める社会を作ること。

ライフネットの保険料がなぜ半分になるかと言えばインター

ネットの中にしか店がないから。契約者の8割は20代、30代の若者。できただけで信用できるのかという不安を持たれるがソルベンシーマージン（保険会社の自己資本比率に相当する）が、47社中一番。日本で一番安全な保険会社だ。

「正直に経営する」「分かりやすく経営する」「安くする」「手軽で便利にする」が経営方針。30代の副社長と二人で始めたが、副社長がブログに保険会社を作ろうとしているという話を書いたら、腕に覚えのある人が集まってきた。

一番のチャレンジは日本で一番安い保険料の実現をしようと

ベンチャーチャンス
時代が求める起業力 – 危機を転機に換えて
「必要とされる会社を自分でつくる、起業家を育てていきたい」

9歳の戦災体験が人生の原点となった。生と死の間で、世のため人のために働く生き方をしたいと決意した。しかし現実には厳しく、女性で大学に行く人などまれな時代に東京の4年制大学を卒業したが、入社試験すら受けられなかった。

必要としてくれる所がないなら自分で作るしかない。10年後の「69年5月1日、会社をつくる」と決め、1日4部制で、三浦朱門、曾野綾子さん夫妻の口述筆記のほか、新聞の編集、映画評論、テレビ局のインタビュアーなど寝る間も惜しんで働いた。

転機は64年の「ニューヨーク世界博」のコンパニオン。アメリカの女性起業家たちと出合い日本の経験を話すと、「アメリカも最近まで同じだった」という。「氷に閉ざされているなら、自分たちがやったようにあなたが厚い氷を割りなさい」。その励ましが深く心に刻まれた。

そして69年5月1日。「ダイヤル・サービス」を創業。重厚長大の時代、「生活の知恵」「情報」などビジネスになるわけがない

と笑われたが、電話をマンツーマンの情報メディアとして利用した「電話秘書サービス」を始めた。

そして間もなく、都市の核家族化が急激に進む中で、孤立した母親の育児ノイローゼが多発した。電話なら母親たちをサポートできる。開設した「赤ちゃん110番」が朝日新聞で紹介されると電話が殺到し、電話局の回線がパンク。電話を使ったビジネスは公衆電気通信法違反、女性の深夜労働は労基法違反だと、法の壁が立ちちはだかった。国民のニーズがあるのに規制する国と誰かが闘ってこれを壊さないといけないという思いに突き動かされた。

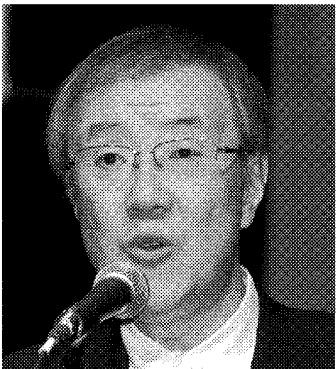
起業から43年、「ダイヤル・サービス」は健康、子ども、高齢者、トータルEAPなどさまざまな分野のサービスで企業や家族、個人を支えている。

いつの間にかベンチャーを目指す人が少なくなった。しかしベンチャーを育てなければこの国の未来はない。ベンチャーをしつかりと支援していきたい。



ダイヤル・サービス(株)
代表取締役社長 今野 由梨 氏

1969年ダイヤル・サービス(株)を設立。現在、社長業の傍ら、“ベンチャーの母”として各国の若手起業家を支援。98年世界優秀女性起業家賞受賞。05年から日本ニュービジネス協議会連合会副会長。昨年APECの女性リーダースネットワーク会合で基調講演を行い、多くの女性起業家にエールを送った。



ライフネット生命保険(株)
代表取締役社長 出口 光明 氏

1948年生まれ。京都大学卒業後、72年日本生命保険相互会社に入社。ロンドン現地法人社長などを経て、同社退職。06年ネットライフ企画創設。代表取締役。08年の生命保険業免許取得に伴い、ライフネット生命保険株式に社名を変更。同社代表取締役社長。

パネルディスカッション

創業のきっかけをつかもう ～次代を担う先駆者たちの目の付けどころ

「インターネットを通じ、人が人を想うサービスを」

インターネットの電子メールを使ってプレゼントを贈るサービスを行っている。最近では「郵便局のメール de ギフト」サービスを開始。「人が人を想う」という気持ちを会社の軸にしている。

スキー選手や芸能界などを経て広告代理店で働いていたが、30歳過ぎぐらいになって何か社会をよくする仕事がしたいと思い、メール de ギフトを思いついた。1年半、自力で創業を続けたものの資金が枯渇。しかし天職のように感じていたので、お世話に

なった方々に私募債で投資をしていただき、会社を設立した。

法人キャンペーンやビジネス、出産、結婚、引っ越しなどで使ってくださり、受取人が今度ではユーザーになり、リピーターになっている。市場はあるが、どう認知を広げていくかが課題。

人間は自分が幸せでないと人を幸せにはできない。誰かに思われ、必要とされていることを感じられることが幸せだ。そのためツールとなるサービスをインターネットを通して作っていききたい。



(株)メールdeギフト 静岡
代表取締役社長 白形 知津江 氏

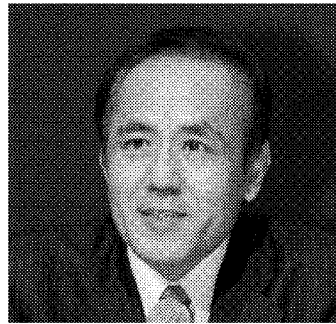
パネリスト

「地道な市場づくりによって、実績が出てきた」

名城大学発のベンチャーでカーボン・ナノチューブ合成技術をベースとして素材の開発、販売をしている。レアメタル、電池材料、再生医療・ワクチン培養などへの活用方法も開発している。

信託銀行に5年ほど勤めたが、起業の思いは強かった。次世代産業で既存ビジネスにないものをやろうと思い「押しかけ」みたいな形で今一緒に活動している安藤 義則先生の研究室に飛び込んだ。

モデレータ



名古屋大学
経済学部・経済学研究科
准教授 山田 基成 氏

「自分で創業する、気概のある学生を育てたい」

90年代後半から第3次ベンチャーブームという言葉が使われ、経済産業省や政府も支援のための施策をいろいろ導入してきた。それなりの効果はあったが、リーマンショックなどを経て日本のベンチャー創業の置かれている現状を見ると大変厳しい。また、日本には80年代半ばには530万ほどの企業があったものが、今は420万社を切るところまで減少している。

しかし起業のチャンスや可能性はたくさんある。リスクとか不安もあるが、ここで立ち止まっても日本経済が劇的によくなるという要素

はない。勇気を出して新しい道を見つけチャレンジしてもらいたい。そのためには支援機関の方々にはさらなる力強い支援をお願いしたい。

最近では学生の就職先が決まらないのが悩みの種になっている。大企業に就職するのも立派な人生であるが、「就職が決まらないなら、自分で創業して仕事の機会を創り出すぞ」というような気概のある学生がでてきて欲しい。そういう教育もさらにすべきであると感じている。



(株)名城ナノカーボン 愛知
代表取締役社長 橋本 剛 氏

中小機構

独創・挑戦・情熱

燃え上がるベンチャー魂
ここに集結

ベンチャー
SPIRITS
2011 in 東京

平成23年 2月16日(水) 13:00~18:30(開場 12:30)
六本木ヒルズ 森タワー アカデミーヒルズ 49F (東京都港区六本木6-10-1)

入場
無料
事前申込制
定員:400名

創業をテーマに各種シンポジウム・分科会を開催!

基調講演

「ビジネスチャンスを掴みとれ! “食”と“人”をつなぐ社会を創造する「ぐるなび」の挑戦!」

ぐるなび
株式会社ぐるなび
代表取締役会長・創業者 滝 久雄 氏

JAPAN
Venture
Awards

「Japan Venture Awards 2011」記念シンポジウム

「社会を変えるベンチャーSPIRITS! ~若き経営者が描く日本の未来、新しい社会」

パネリスト

マイクロファイナンスファンド
で夢を叶える事業支援

エシカルジュエリーで
途上国の貧困問題を解決する

湘南発! 義経を通じて
農業スタイル革新

【モデレータ】

リソース・キャピタルワークス㈱
取締役 CIO 藤野 英人 氏

義 HASUNA
代表取締役 白木 夏子 氏

義みやじ源
代表取締役社長 宮治 勇輔 氏

ミュージックセキュリティーズ㈱
代表取締役 小松 真実 氏

分科会

1 大学発ベンチャービジネスコンテスト

創業5年以内(創業予定を含む)の大学発(大学院・高専含む)ベンチャーがビジネスプランを発表します。グランプリ、準グランプリのほか、ご参加の皆様投票で“ベストプレゼン”賞が決まります!

2 地域発ベンチャー

「地域発」全国・世界

パネリスト

㈱沖縄ティファクトリー 代表取締役社長 内田 智子 氏

㈱トラベル東北 代表取締役 山口 スティーブ 氏

㈱つくばウェルネスリサーチ 代表取締役社長 久野 謙也 氏

【モデレータ】ジャーナリスト・キャスター 三神 万里子 氏

3 転業／第二創業

「変化を Catch UP! 新事業展開のブレイクスルー」

パネリスト

日本電鍍工業㈱ 代表取締役 伊藤 麻美 氏

㈱悠心 代表取締役社長 二瀬 克規 氏

エナックス㈱ 代表取締役 工学博士 小沢 和典 氏

【モデレータ】プライスウォーターハウスクーパース㈱ ディレクター 原 誠 氏

主 催：独立行政法人 中小企業基盤整備機構
事前申し込み・イベントの詳細はこちらから! ▶ URL <http://j-venture.smrj.go.jp>
お問い合わせ JVA2011運営事務局 〒103-8548 東京都 中央区 日本橋小網町14-1 (日刊工業新聞社内) TEL.03-5644-7013